



## 平成30年3月期 第2四半期(中間期)決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年11月10日

上場取引所 東 名

上場会社名 株式会社 三重銀行  
コード番号 8374 URL <http://www.miebank.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役頭取  
問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員総合企画部長  
四半期報告書提出予定日 平成29年11月10日

(氏名) 渡辺 三憲  
(氏名) 堀内 浩樹  
配当支払開始予定日

TEL 059-353-3111  
平成29年12月8日

特定取引勘定設置の有無 無  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年3月期第2四半期(中間期)の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は、対前年中間増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期中間期	17,724	8.0	3,425	32.4	2,575	30.3
29年3月期中間期	16,408	△3.7	2,587	△22.6	1,976	△7.7

(注) 包括利益 30年3月期中間期 5,611百万円 (—%) 29年3月期中間期 △622百万円 (—%)

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期中間期	191.31	—
29年3月期中間期	146.75	—

(注) 平成28年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しましたが、前連結会計年度の期首に当該株式併合を実施したと仮定し、1株当たり中間純利益を算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期中間期	2,037,092	126,965	6.2
29年3月期	1,981,186	121,795	6.1

(参考) 自己資本 30年3月期中間期 125,998百万円 29年3月期 120,874百万円

(注) 「自己資本比率」は、「期末純資産の部合計－期末非支配株主持分」を期末資産の部合計で除して算出しております。  
なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	3.25	—	32.50	—
30年3月期	—	32.50	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	32.50	65.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 平成28年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施したため、29年3月期第2四半期末の配当金については、当該株式併合前の金額を記載し、年間配当金合計は「—」として記載しております。

### 3. 平成30年 3月期の連結業績予想(平成29年 4月 1日～平成30年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	33,500	2.4	5,000	1.4	3,500	△1.4	259.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当中間期における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

	30年3月期中間期	13,483,034 株	29年3月期	13,483,034 株
① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期中間期	13,483,034 株	29年3月期	13,483,034 株
② 期末自己株式数	30年3月期中間期	20,556 株	29年3月期	19,784 株
③ 期中平均株式数(中間期)	30年3月期中間期	13,462,986 株	29年3月期中間期	13,465,413 株

(注)平成28年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しましたが、前連結会計年度の期首に当該株式併合を実施したと仮定し、期中平均株式数を算定しております。

(個別業績の概要)

1. 平成30年3月期第2四半期(中間期)の個別業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 個別経営成績 (%表示は、対前年中間期増減率)

	経常収益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期中間期	13,936	1.1	2,923	18.3	2,306	18.0
29年3月期中間期	13,784	△3.4	2,470	△18.6	1,955	△6.0

	1株当たり中間純利益
	円 銭
30年3月期中間期	171.35
29年3月期中間期	145.26

(注)平成28年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しましたが、前事業年度の期首に当該株式併合を実施したと仮定し、1株当たり中間純利益を算定しております。

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期中間期	2,023,985	121,600	6.0
29年3月期	1,969,759	116,895	5.9

(参考)自己資本 30年3月期中間期 121,600百万円 29年3月期 116,895百万円

(注)「自己資本比率」は、期末純資産の部合計を期末資産の部合計で除して算出しております。  
なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

2. 平成30年3月期の個別業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	経常収益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,200	△2.5	4,300	△2.2	3,100	△4.0	230.27

※中間決算短信は中間監査の対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・当行は、特定事業会社(企業内容等の開示に関する内閣府令第17条の15第2項に規定する事業を行う会社)に該当するため、第2四半期会計期間については、中間連結財務諸表及び中間財務諸表を作成しております。
- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当行が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当行として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当中間期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 中間連結貸借対照表	3
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	4
中間連結損益計算書	4
中間連結包括利益計算書	5
(3) 中間連結株主資本等変動計算書	6
(4) 継続企業の前提に関する注記	7
3. 中間財務諸表	8
(1) 中間貸借対照表	8
(2) 中間損益計算書	10
(3) 中間株主資本等変動計算書	11

平成30年3月期 第2四半期（中間期）決算説明資料

1. 当中間期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当中間期（平成29年4～9月）におけるわが国の経済を振り返りますと、雇用のひっ迫感が一層強まるなか賃金が緩やかながらも増加し、個人消費は、持ち直しの傾向がみられました。また、輸出は米国の政治情勢や地政学リスクの高まりを受け為替市場が大きく変動するなか、アジア向けを中心に持ち直しの動きが続きました。こうしたなか、企業の生産活動は、新型車やスマートフォン部品の需要拡大に押し上げられ、増加基調となりました。総じてみると、景気は緩やかな持ち直しの状況となりました。

当行の主な営業地盤であります三重・愛知両県下において、企業の生産活動は、主要産業である電子部品・デバイスや自動車関連を中心に国内需要が拡大したほか、輸出の増加もプラスに作用し、増加基調が続きました。また、雇用所得環境の改善持続を背景に個人消費も緩やかに持ち直しつつあり、景気は回復に向けた動きが広がりました。

当中間期の連結経営成績につきましては、経常収益は、株式等売却益やリース業に係る収益が増加したことなどから、前中間連結会計期間比13億16百万円増加し177億24百万円となりました。一方、経常費用は、営業経費やリース業に係る費用が増加したことなどから、前中間連結会計期間比4億79百万円増加し142億99百万円となりました。この結果、経常利益は、前中間連結会計期間比8億38百万円増加し34億25百万円、親会社株主に帰属する中間純利益は、同5億99百万円増加し25億75百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

貸出金は、地元事業性貸出金の増強に努めましたものの、前連結会計年度末比64億円減少し1兆3,686億円となりました。

預金は、地元預金の増強に努めました結果、預金と譲渡性預金を合わせた残高は前連結会計年度末比421億円増加し1兆7,953億円となりました。

有価証券は、市場動向を注視しつつ機動的な運用に努めました結果、前連結会計年度末比97億円減少し4,339億円となりました。

また、資産は、現金預け金が増加したことなどから前連結会計年度末比559億円増加し2兆370億円、負債は、預金が増加したことなどから同507億円増加し1兆9,101億円となりました。純資産は、その他有価証券評価差額金が増加したことなどから前連結会計年度末比51億円増加し1,269億円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、当中間期の実績を踏まえ、平成29年5月12日に公表した数値を下記の通り修正しております。

(百万円)

	連結業績予想			個別業績予想		
	経常収益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	経常収益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	32,700	4,400	3,000	26,000	4,000	2,800
今回発表予想 (B)	33,500	5,000	3,500	26,200	4,300	3,100
増減額 (B-A)	800	600	500	200	300	300
増減率 (%)	2.4	13.6	16.7	0.8	7.5	10.7

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当中間連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>資産の部</b>		
現金預け金	103,835	180,036
コールローン及び買入手形	3,527	2,069
買入金銭債権	3,466	1,189
商品有価証券	72	76
有価証券	443,715	433,947
貸出金	1,375,057	1,368,618
外国為替	2,268	2,100
リース債権及びリース投資資産	8,635	8,894
その他資産	20,010	20,685
有形固定資産	10,768	10,772
無形固定資産	2,553	2,376
退職給付に係る資産	3,693	3,627
繰延税金資産	289	247
支払承諾見返	8,557	7,198
貸倒引当金	△5,264	△4,750
資産の部合計	1,981,186	2,037,092
<b>負債の部</b>		
預金	1,653,833	1,708,684
譲渡性預金	99,400	86,702
債券貸借取引受入担保金	12,104	20,183
借入金	60,393	60,810
外国為替	4	—
その他負債	15,984	16,113
賞与引当金	573	576
退職給付に係る負債	182	190
執行役員退職慰労引当金	61	69
睡眠預金払戻損失引当金	163	141
繰延税金負債	8,132	9,457
支払承諾	8,557	7,198
負債の部合計	1,859,390	1,910,126
<b>純資産の部</b>		
資本金	15,295	15,295
資本剰余金	11,437	11,437
利益剰余金	72,949	75,088
自己株式	△61	△63
株主資本合計	99,621	101,757
その他有価証券評価差額金	21,797	24,504
繰延ヘッジ損益	△662	△482
退職給付に係る調整累計額	118	219
その他の包括利益累計額合計	21,252	24,240
非支配株主持分	920	966
純資産の部合計	121,795	126,965
負債及び純資産の部合計	1,981,186	2,037,092

## (2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

## 中間連結損益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
経常収益	16,408	17,724
資金運用収益	8,874	8,867
(うち貸出金利息)	7,056	6,898
(うち有価証券利息配当金)	1,745	1,907
役務取引等収益	3,137	3,175
その他業務収益	703	1,015
その他経常収益	3,693	4,666
経常費用	13,820	14,299
資金調達費用	920	563
(うち預金利息)	428	248
役務取引等費用	863	861
その他業務費用	—	172
営業経費	9,444	9,628
その他経常費用	2,592	3,073
経常利益	2,587	3,425
特別利益	0	0
固定資産処分益	0	0
特別損失	10	9
固定資産処分損	10	9
減損損失	—	0
税金等調整前中間純利益	2,578	3,416
法人税、住民税及び事業税	616	723
法人税等調整額	△35	71
法人税等合計	581	795
中間純利益	1,997	2,620
非支配株主に帰属する中間純利益	20	45
親会社株主に帰属する中間純利益	1,976	2,575

## 中間連結包括利益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
中間純利益	1,997	2,620
その他の包括利益	△2,619	2,990
その他有価証券評価差額金	△3,008	2,708
繰延ヘッジ損益	269	180
退職給付に係る調整額	119	101
中間包括利益	△622	5,611
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	△642	5,563
非支配株主に係る中間包括利益	20	47

(3) 中間連結株主資本等変動計算書

前中間連結会計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	15,295	11,388	70,249	△56	96,876
会計方針の変更による 累積的影響額			27		27
会計方針の変更を反映した 当期首残高	15,295	11,388	70,276	△56	96,903
当中間期変動額					
剰余金の配当			△437		△437
親会社株主に帰属する 中間純利益			1,976		1,976
自己株式の取得				△1	△1
自己株式の処分			△0	0	0
連結子会社株式の取得 による持分の増減		49			49
株主資本以外の項目の 当中間期変動額(純額)					
当中間期変動額合計	—	49	1,538	△0	1,586
当中間期末残高	15,295	11,437	71,814	△57	98,490

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括 利益累計額合計		
当期首残高	22,898	△1,247	△183	21,468	945	119,290
会計方針の変更による 累積的影響額					0	28
会計方針の変更を反映した 当期首残高	22,898	△1,247	△183	21,468	946	119,319
当中間期変動額						
剰余金の配当						△437
親会社株主に帰属する 中間純利益						1,976
自己株式の取得						△1
自己株式の処分						0
連結子会社株式の取得 による持分の増減						49
株主資本以外の項目の 当中間期変動額(純額)	△3,007	269	119	△2,618	△30	△2,649
当中間期変動額合計	△3,007	269	119	△2,618	△30	△1,062
当中間期末残高	19,891	△977	△63	18,849	916	118,256



(株)三重銀行(8374)平成30年3月期 第2四半期(中間期)決算短信

当中間連結会計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	15,295	11,437	72,949	△61	99,621
当中間期変動額					
剰余金の配当			△437		△437
親会社株主に帰属する 中間純利益			2,575		2,575
自己株式の取得				△1	△1
株主資本以外の項目の 当中間期変動額(純額)					
当中間期変動額合計	—	—	2,138	△1	2,136
当中間期末残高	15,295	11,437	75,088	△63	101,757

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括 利益累計額合計		
当期首残高	21,797	△662	118	21,252	920	121,795
当中間期変動額						
剰余金の配当						△437
親会社株主に帰属する 中間純利益						2,575
自己株式の取得						△1
株主資本以外の項目の 当中間期変動額(純額)	2,706	180	101	2,987	46	3,033
当中間期変動額合計	2,706	180	101	2,987	46	5,170
当中間期末残高	24,504	△482	219	24,240	966	126,965

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

3. 中間財務諸表

(1) 中間貸借対照表

(単位:百万円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当中間会計期間 (平成29年9月30日)
<b>資産の部</b>		
現金預け金	103,815	180,019
コールローン	3,527	2,069
買入金銭債権	3,466	1,189
商品有価証券	72	76
有価証券	444,913	435,049
貸出金	1,381,145	1,373,431
外国為替	2,268	2,100
その他資産	9,541	10,677
その他の資産	9,541	10,677
有形固定資産	10,365	10,186
無形固定資産	2,544	2,382
前払年金費用	3,525	3,319
支払承諾見返	8,557	7,198
貸倒引当金	△3,984	△3,715
資産の部合計	1,969,759	2,023,985
<b>負債の部</b>		
預金	1,660,804	1,715,733
譲渡性預金	99,400	86,702
債券貸借取引受入担保金	12,104	20,183
借入金	54,000	53,000
外国為替	4	—
その他負債	9,164	9,482
未払法人税等	671	498
リース債務	2	—
資産除去債務	66	65
その他の負債	8,424	8,919
賞与引当金	521	526
退職給付引当金	95	103
執行役員退職慰労引当金	61	69
睡眠預金払戻損失引当金	163	141
繰延税金負債	7,985	9,243
支払承諾	8,557	7,198
負債の部合計	1,852,863	1,902,384

(単位:百万円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当中間会計期間 (平成29年9月30日)
純資産の部		
資本金	15,295	15,295
資本剰余金	11,144	11,144
資本準備金	11,144	11,144
利益剰余金	69,604	71,473
利益準備金	4,151	4,151
その他利益剰余金	65,452	67,322
固定資産圧縮積立金	41	41
別途積立金	61,704	64,004
繰越利益剰余金	3,707	3,277
自己株式	△61	△63
株主資本合計	95,982	97,850
その他有価証券評価差額金	21,576	24,233
繰延ヘッジ損益	△662	△482
評価・換算差額等合計	20,913	23,750
純資産の部合計	116,895	121,600
負債及び純資産の部合計	1,969,759	2,023,985

## (2) 中間損益計算書

(単位:百万円)

	前中間会計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当中間会計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
経常収益	13,784	13,936
資金運用収益	8,994	9,000
(うち貸出金利息)	7,056	6,899
(うち有価証券利息配当金)	1,868	2,041
役務取引等収益	2,929	2,979
その他業務収益	703	1,015
その他経常収益	1,156	941
経常費用	11,314	11,013
資金調達費用	906	548
(うち預金利息)	428	248
役務取引等費用	953	952
その他業務費用	—	172
営業経費	8,952	9,146
その他経常費用	501	192
経常利益	2,470	2,923
特別利益	0	0
特別損失	10	9
税引前中間純利益	2,460	2,913
法人税、住民税及び事業税	533	574
法人税等調整額	△29	32
法人税等合計	504	606
中間純利益	1,955	2,306

## (3) 中間株主資本等変動計算書

前中間会計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

(単位:百万円)

	株主資本									株主資本 合計
	資本金	資本剰余金		利益準備金	利益剰余金			自己株式		
		資本準備金	資本剰余金 合計		その他利益剰余金				利益剰余金 合計	
					固定資産 圧縮積立金	別途積立金	繰越利益 剰余金			
当期首残高	15,295	11,144	11,144	4,151	43	59,004	4,027	67,226	△56	93,609
会計方針の変更による累積的影響額							24	24		24
会計方針の変更を反映した当期首残高	15,295	11,144	11,144	4,151	43	59,004	4,052	67,250	△56	93,633
当中間期変動額										
剰余金の配当							△437	△437		△437
固定資産圧縮積立金の取崩					△0		0	－		
別途積立金の積立						2,700	△2,700	－		
中間純利益							1,955	1,955		1,955
自己株式の取得									△1	△1
自己株式の処分							△0	△0	0	0
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)										
当中間期変動額合計	－	－	－	－	△0	2,700	△1,181	1,518	△0	1,517
当中間期末残高	15,295	11,144	11,144	4,151	42	61,704	2,870	68,768	△57	95,151

	評価・換算差額等			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	評価・換算差額等合計	
当期首残高	22,705	△1,247	21,458	115,067
会計方針の変更による累積的影響額				24
会計方針の変更を反映した当期首残高	22,705	△1,247	21,458	115,092
当中間期変動額				
剰余金の配当				△437
固定資産圧縮積立金の取崩				
別途積立金の積立				
中間純利益				1,955
自己株式の取得				△1
自己株式の処分				0
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	△2,996	269	△2,726	△2,726
当中間期変動額合計	△2,996	269	△2,726	△1,209
当中間期末残高	19,709	△977	18,731	113,882

(株)三重銀行(8374)平成30年3月期 第2四半期(中間期)決算短信

当中間会計期間(自平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

(単位:百万円)

	株主資本									株主資本 合計
	資本金	資本剰余金		利益準備金	利益剰余金			自己株式		
		資本準備金	資本剰余金 合計		その他利益剰余金					
					固定資産 圧縮積立金	別途積立金	繰越利益 剰余金		利益剰余金 合計	
当期首残高	15,295	11,144	11,144	4,151	41	61,704	3,707	69,604	△61	95,982
当中間期変動額										
剰余金の配当							△437	△437		△437
固定資産圧縮積立 金の取崩					△0		0	—		
別途積立金の積立						2,300	△2,300	—		
中間純利益							2,306	2,306		2,306
自己株式の取得									△1	△1
株主資本以外の項目の 当中間期変動額(純額)										
当中間期変動額合計	—	—	—	—	△0	2,300	△430	1,869	△1	1,867
当中間期末残高	15,295	11,144	11,144	4,151	41	64,004	3,277	71,473	△63	97,850

	評価・換算差額等			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	評価・換算差額等合計	
当期首残高	21,576	△662	20,913	116,895
当中間期変動額				
剰余金の配当				△437
固定資産圧縮積立 金の取崩				
別途積立金の積立				
中間純利益				2,306
自己株式の取得				△1
株主資本以外の項目の 当中間期変動額(純額)	2,657	180	2,837	2,837
当中間期変動額合計	2,657	180	2,837	4,704
当中間期末残高	24,233	△482	23,750	121,600

平成30年3月期  
第2四半期  
(中間期)

決算説明資料

第1部 決算の概況

第2部 決算ダイジェスト



# 【 目 次 】

## 第1部 決算の概況

### I 平成30年3月期 第2四半期（中間期）決算の概況 頁

1. 損益状況	単	.....	1
	連	.....	2
2. 業務純益	単	.....	3
3. 利鞘	単		
(1) 全体	単		
(2) 国内	単		
4. 有価証券関係損益	単	.....	4
5. 主要勘定残高		.....	5
(1) 末残	単		
(2) 平残	単		
(3) 地域別貸出状況	単	.....	6
(4) 地域別預金等状況	単		

### II 貸出金等の状況

1. 開示基準別の分類・保全状況	単	.....	7
2. リスク管理債権の状況	単・連	.....	8
3. 金融再生法開示債権	単・連	.....	9
4. 金融再生法開示債権の保全状況	単		
5. 貸倒引当金等の状況	単・連	.....	10
6. 業種別貸出状況		.....	11
(1) 業種別貸出金	単		
(2) 業種別リスク管理債権	単		

### III 自己資本比率等

1. 自己資本比率	単・連	.....	12
2. ROE	単		
3. 有価証券の評価損益		.....	13
(1) 有価証券の評価基準			
(2) 有価証券の減損処理基準			
(3) 評価損益	単・連		

### IV 業績予想 単・連 .....14

## 第2部 決算ダイジェスト

1. 損益の状況	単	.....	15
2. 業容・業績サマリー	単	.....	16
3. 資産の健全性	単	.....	17
4. 経営の安定性	単		
5. 地元（三重・愛知）取引の状況	単	.....	18



I 平成30年3月期 第2四半期（中間期）決算の概況

1. 損益状況

【単体】

（単位：百万円、%）

	29年9月中間期		28年9月中間期
		28年9月中間期比	
経常収益	13,936	152 1.1	13,784
経常利益	2,923	453 18.3	2,470
中間純利益	2,306	351 18.0	1,955
コア業務純益	2,181	509 30.4	1,672

（注）「28年9月中間期比」欄の上段は増減額、下段は増減率であります。

【単体】

（単位：百万円）

	29年9月中間期		28年9月中間期
		28年9月中間期比	
業務粗利益 （除く債券関係損益）	11,320 ( 11,307 )	553 ( 697 )	10,767 ( 10,610 )
資金利益	8,451	363	8,088
役務取引等利益	2,026	51	1,975
その他業務利益	842	139	703
債券関係損益	13	△ 143	156
経費（除く臨時処理分）	9,126	188	8,938
人件費	5,128	13	5,115
物件費	3,498	170	3,328
税金	499	6	493
実質業務純益（注1）	2,194	365	1,829
コア業務純益（注2）	2,181	509	1,672
一般貸倒引当金繰入額(1)	—	—	—
業務純益 （除く債券関係損益）	2,194 ( 2,181 )	365 ( 509 )	1,829 ( 1,672 )
臨時損益	728	87	641
株式等関係損益	390	365	25
不良債権処理額(2)	0	△ 94	94
貸出金償却	0	△ 44	44
個別貸倒引当金繰入額	—	—	—
債権売却損等	—	△ 49	49
貸倒引当金戻入益(3)（注3）	199	△ 141	340
一般貸倒引当金戻入益	60	96	△ 36
個別貸倒引当金戻入益	139	△ 237	376
償却債権取立益(4)	0	0	0
その他臨時損益	138	△ 231	369
経常利益	2,923	453	2,470
特別損益	△ 9	0	△ 9
固定資産処分損益	△ 9	0	△ 9
減損損失	0	0	—
税引前中間純利益	2,913	453	2,460
法人税、住民税及び事業税	574	41	533
法人税等調整額	32	61	△ 29
法人税等合計	606	102	504
中間純利益	2,306	351	1,955
信用コスト（(1) + (2) - (3) - (4)）	△ 199	46	△ 245

（注1）実質業務純益＝業務純益（一般貸倒引当金繰入前）

（注2）コア業務純益＝実質業務純益－債券関係損益

（注3）貸倒引当金の取崩額が繰入額を上回るため、貸倒引当金戻入益を臨時損益に計上しております。

4) ")>8\$Ò S Ç >#

	° v p6ë ‡	° v p6ë ‡ š	° v p6ë ‡
) -	p	%	
) -	<	%	
0v &k 4 z _ • " M • p6ë(ç <%			

@ ° v p6ë ‡ š bV•cQ ô8 W•cQ ô"á[6~rM

4) ")>8\$Ò S Ç

	° v p6ë ‡	° v p6ë ‡ š	° v p6ë ‡
4 ) ( ' <	<	%	
2 ( 5 <	<	%	
z » v , ' ¼ < %	» < %		
Q b Ú	» < %		
) 2 > & 7 V C + « ì # . ( > ' &#160;	€ † %		
™ # Ý	1 « 1 0 1		
2 5 ~ 1 7			
M + á 2 ½ , \ 5 ) P ° 8 >		+	>
¶ 9 2 ½ , \ 5 ) P ° 8 >		+	>
. » - 0 É † » , \ 5 ) P ° 8 >		+	>
. ' Ž 7 † >+' ¼			
2 ½ , \ 5 ` ° % > & @ > ' v ' g %			
~ 7 . ' v ' g %			
4 ' ' ¼ 6 ö € † %			
Q b 1 Ú			
) - < %			
" l 9 † %			
[ 2 ( # Ø ( † %			
ö † † »			
& ï 5 ' ¼ 1 * Z S p 6 ë ( ç < %			
2 Ç & ï + , & ï l g i & ï			
2 Ç & ï ' ¼ 1 * Z 8 1			
2 Ç & ï ' ¼ œ 0 £			
p 6 ë ( ç < %			
8 -4 Ä 4 z _ • " M • p6ë(ç <%			
0v &k 4 z _ • " M • p6ë(ç <%			

+  
+  
+

>& @>2 ½ , \5 b v 8 @)P°8 † VG•Su 2 ½ , \5 ` ° % †0£ V K Z > ~ r M

>& g\*f>'

4 ) » ( ç %			
-------------	--	--	--

>& @>'4) »(ç%>; "/ »(ç%>4)) - <%>+" /) - <%

>&4) P1ß &k X>'

>&&k>'

4 ) Ê & k X			
-------------	--	--	--

>0>, »(ç% " /

" )>8\$Ò S Ç

	° v p6ë ‡	° v p6ë ‡ š	° v p6ë ‡
2A » (ç %			
*Ë ( M Ç \ S ~>& Ç >'			
¥ " » (ç %			
*Ë ( M Ç \ S ~>& Ç >'			
» (ç %			
*Ë ( M Ç \ S ~>& Ç >'			

>1>, <8' " /

2 /

" )>8>#

	° v p6ë ‡	° v ‡ š	° v p6ë ‡ š	° v ‡	° v p6ë ‡
2 5 < G>&?>'		1	1		
8x5 '¼ < G		1	1		
) 2 "á		1			
8x5 '¼ N o>&@>'		1	1		
8x2 5 <8'>&?>'>+>&@>'	1			1	1
w o0É F < G					
2(5 4 #Ý < G>&A>'			1		
2(5 1*4) N o>&B>'		1	1		
)r2(5 <8'>&A>'>+>&B>'	1			1	1

\Æ

" )>8>#

	° v p6ë ‡	° v ‡ š	° v p6ë ‡ š	° v ‡	° v p6ë ‡
2 5 < G>&?>'		1	1		
8x5 '¼ < G		1	1		
) 2 "á		1			
8x5 '¼ N o>&@>'		1	1		
8x2 5 <8'>&?>'>+>&@>'	1	1	1	1	1
w o0É F < G					
2(5 4 #Ý < G>&A>'			1		
2(5 1*4) N o>&B>'		1	1		
)r2(5 <8'>&A>'>+>&B>'	1			1	1

































